

朝会時のお話

おはようございます。「最近、またコロナの感染者が増えています。手洗いうがいをしっかり行いましょう。」「一日の寒暖差が大きいです。天気予報を観て寒くなりそうなときは上着を持って来ましょう。」その通りですね。6年生ありがとう。

まず、お願いがあります。あいさつはだいぶ上手になってきたのですが、最近、言葉遣いが悪い子が多くなっていると、学校に連絡が来ました。たとえば、公園で遊んでいるときに友達や年下の学年の人に「お前」「バカ」「死ね」などと大きな声で言っているのをよく聞くと、その方はおっしゃっていました。とても悲しいです。言葉遣いの乱れは生活の乱れです。悪い言葉遣いをしていると人間性も悪くなります。「バカ」「死ね」など絶対言わないでください。暴力です。そして、人を呼ぶ時は名前で「〇〇さん」と呼びましょう。あだ名も、その人が嫌だと思っているようなあだ名で呼んではいけません。言葉の暴力、絶対やめてください。

先週、縄文時代の遺骨『入江9号さん』の話から、持続可能な社会を創ろうと世界中で取り組んでいる『SDGs』のことについてお話しますと予告しました。言葉としてはみんな聞いている言葉だと思います。電車の広告でも見ます。『SDGs』とは、「Sustainable Development Goals サステイナブル ディベロップメント ゴールズ」を略したもので「持続可能な開発目標」です。美しい地球を美しいまま守っていこうということだと思います。気候変動や社会の格差の問題が深刻さを増す中、2015年の国連総会で2030年までに達成する国際社会共通の目標のことです。気候変動とは、地球の表面の温度が上がり北極などの氷が解けたり、そのため海水が上がって島が沈んできたりすることです。地球温暖化のことがよく問題になっています。社会格差は、裕福な人がいる半面、生活することもやっとな貧困に苦しむ人がいることや、性別・肌の色・人種などいろいろな差別があることです。それらを無くしていこうという取組です。17の目標とそれを具体化した169のターゲットがあります。経済・社会・環境のいずれもが持続可能な形で成長していくことを目指し「誰ひとりとして取り残さない」を基本理念としています。小学生は小学生として「持続可能な社会の創り手」になることができるのです。飲み終わった牛乳パックを開いて洗って乾かして、業者に持って行ってもらうことや、ごみを減らしたり分別して捨てたりするのも皆「SDGs」の取組と言えます。差別をしないでみんな仲良くすることも大事な「SDGs」なのです。私たちにできる「SDGs」を考えて実行していきましょう。廃材から作ったアートなど「SDGs」の記事を校長室前に掲示しますね。

次は、ジャイアントパンダのお話。今、4歳になったシャンシャン。生まれたとき、すごい話題になりました。覚えていますか。ママはシンシンです。そのシンシンが23日に、今度は双子の赤ちゃんを産みました。上野動物園で双子のジャイアントパンダが産まれるのは初めてだそうです。1頭の体重は124g、もう1頭はまだ分からないようです。ジャイアントパンダは双子が生まれると1頭しか育てないことがあるようなので、飼育員さんが赤ちゃんパンダを1頭ずつ交代でシンシンに預けるそうです。元気に育ってほしいですね。上野動物園で会える日はいつごろになるのでしょうか。楽しみにしていきましょう。